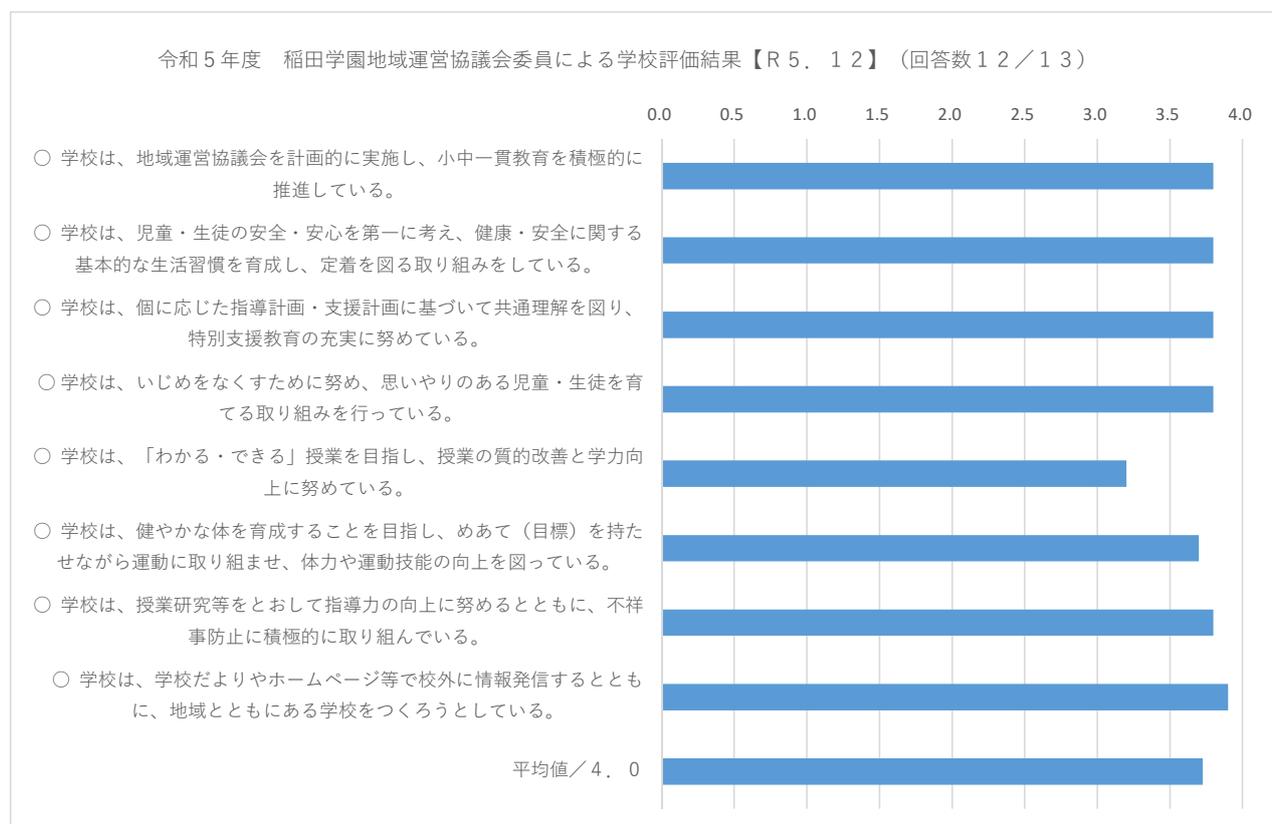


令和5年度 稲田学園地域運営協議会委員による学校評価結果【R5. 12】（回答数12／13）

No.	観 点	内 容	平均値／4.0
1	「小中一貫教育」須賀川モデルの推進（幼・小・中連携）	○ 学校は、地域運営協議会を計画的に実施し、小中一貫教育を積極的に推進している。	3.8
2	安全・安心対策の充実	○ 学校は、児童・生徒の安全・安心を第一に考え、健康・安全に関する基本的な生活習慣を育成し、定着を図る取り組みをしている。	3.8
3	特別支援教育の推進	○ 学校は、個に応じた指導計画・支援計画に基づいて共通理解を図り、特別支援教育の充実に努めている。	3.8
4	豊かな心の育成	○ 学校は、いじめをなくすために努め、思いやりのある児童・生徒を育てる取り組みを行っている。	3.8
5	確かな学力の育成	○ 学校は、「わかる・できる」授業を目指し、授業の質的改善と学力向上に努めている。	3.2
6	健やかな体の育成	○ 学校は、健やかな体を育成することを目指し、めあて（目標）を持たせながら運動に取り組みませ、体力や運動技能の向上を図っている。	3.7
7	教職員の資質・指導力の向上	○ 学校は、授業研究等とおして指導力の向上に努めるとともに、不祥事防止に積極的に取り組んでいる。	3.8
8	地域とともにある学校	○ 学校は、学校だよりやホームページ等で校外に情報発信するとともに、地域とともにある学校をつくろうとしている。	3.9
平均値／4.0			3.7



<安全・安心対策の充実>

- 不適應生徒への対応に引き続き努めていただきたい。
- 児童・生徒の横断歩道を安全に渡ろうとする態度・渡りきってからの礼儀の良いことには感心します。

<豊かな心の育成>

- いじめの問題はなかなか難しいところだが、少しずつ子供たちの心に響くようなかわりを御願ひします。

<教職員の資質・指導力の向上>

- 教員の安定的な人間性を保持するため、精神的に負担を軽減する方策の検討と事業の改善の取り組みが必要である。そのため、教員の業務をサポートするスクールサポートスタッフの拡充と利用の推進も重要である。
- 教師の本分でもあるので、指導力の向上を目指して引き続き精進していただきたい。少しでも、できる・分かる生徒を増やすことで、不適應生徒の減少につながるのではと考えます。

<健やかな体の育成>

- 運動会や部活動等を拝見して、運動機能の個人差が大きいと感じます。

<その他>

- 保護者の過剰な要求に対しては、学校が組織的に対応するのが重要であり、また教育委員会の支援体制とスムーズな連携体制がとれることが望まれる。
- 毎年、定期的に運営協議会があり、学校や地域のことを知る機会となっていて、とても良いことだと思っています。運営に関してとても考え、工夫されていることが分かります。先生方お疲れ様です。
- 幼少連携の推進を引き続きより一層図れるよう御願ひします。これまでも、幼小連携の多大なご協力をいただいていることに感謝です。
- 地域内、同窓生で活躍する人に講話する機会を。
推薦者：須賀川俳句会の佐藤秀治氏（保戸原出身）
- 令和5年度の学校評価アンケートの結果を見まして、保護者・教職員、児童生徒からの多岐項目に渡り解析する労力は大変なことだと思います。安全・安心で小中一貫教育活動を行っていることが分かります。今後ともよろしく御願ひいたします。
- 縄跳び記録会の復活。